

各政令指定都市における高齢者への交通助成制度の実施状況

※ 助成制度の主な交付方式に従って、分類分けを行っている。

【割引乗車券販売方式】

	札幌市	仙台市	熊本市
事業名	敬老優待乗車証交付事業	敬老乗車証	熊本市優待証交付事業
媒体	磁気カード	磁気カード	磁気カード
内容	減額（割引）された磁気カードを販売。 （例）利用者負担金 1,000 円 ⇒ 利用限度額 10,000 円 （年間利用上限額は 7 万円）	減額された磁気カードを販売。 （例）利用者負担金 500 円 ⇒ 利用限度額 5,000 円 （年間利用上限額は 12 万円）	熊本市優待証（通称：さくらカード）の交付を行ったうえで、減額された磁気カードを販売。 ・さくらカードの交付手数料 300 円 ・利用者負担金 1,000 円 ⇒ 利用限度額 5,000 円
利用交通機関	市営地下鉄・市電・民営バス（5 社）	市営地下鉄・市バス・民営バス（1 社）	市営電車・市バス・私鉄（1 社）・民営バス（4 社）
本人負担	あり	あり	あり
対象者	70 歳以上	70 歳以上	70 歳以上
所得制限	なし	なし	なし
交付者数	195,699 人	106,384 人	66,096 人
交付率	74.80%	69.00%	57.92%
平成 23 年度決算額	4,241,068 千円	2,092,391 千円	720,240 千円
交付者一人当たり事業費	21,671 円	19,668 円	10,897 円
市民一人当たり事業費	2,197 円	1,967 円	975 円

各政令指定都市における高齢者への交通助成制度の実施状況

【割引方式（利用ごとに一定額を負担する）】

	川崎市	堺市	神戸市
事業名	高齢者外出支援乗車事業	高齢者社会参加促進事業	敬老優待乗車証
媒体	紙カード	紙カード	ICカード
内容	①無料で配布する「高齢者特別乗車証明書」を提示し、大人普通運賃の半額で乗車（割引方式） ②高頻度利用者向けに高齢者フリーパスを購入して乗車（定期券方式） （例）1箇月 1,000円	無料で配布する「おでかけ応援カード」を提示し、1乗車100円で利用。（毎月5日、10日、15日、20日、25日、30日の6日間に利用日が限定されている）	①乗車ごとに次の費用を負担 市バス・民営バス：100円 市営地下鉄・神戸新交通：小児料金 ②低所得者向け（回数券方式） 年150回程度乗車できる敬老無料乗車券を交付 ③高頻度利用者向け（定期券方式） 通常販売料金の半額で交付
利用交通機関	市バス・民営バス（5社）	民営バス（3社）	市バス・市営地下鉄・民営バス（5社）、神戸新交通
本人負担	①あり ②あり	あり	①あり ②なし ③あり
対象者	70歳以上	65歳以上	70歳以上
所得制限	なし	なし	なし
交付者数	①175,886人 ②36,994人	129,452人	193,779人
交付率	①100% ②21.00%	66.62%	73.50%
平成23年度決算額	1,463,644千円	101,577千円	3,642,311千円
交付者一人当たり事業費	8,322円	784円	18,796円
市民一人当たり事業費	1,017円	121円	2,363円

各政令指定都市における高齢者への交通助成制度の実施状況

【回数券配布方式】

	浜松市	広島市	福岡市
事業名	高齢者社会参加促進事業	高齢者公共交通機関利用助成	高齢者乗車券
媒体	ICカード, 磁気カード, 紙カード	ICカード, 磁気カード	交通用福祉 IC カード, 磁気カード, 紙カード
内容	バス・鉄道等 8 種類の券種からいずれか 1 種類を選択交付 ※ 利用限度額 6,000 円	バス・鉄道等 3 種類の券種からいずれか 1 種類を選択交付 ※ 利用限度額 6,000 円	バス・鉄道等 5 種類の券種からいずれか 1 種類を選択交付 ※ 所得に応じ, 利用限度額 8,000 円~12,000 円
利用交通機関	私鉄・民営バス (3 社)	民営バス (12 社)・私鉄 (3 社)・船 (5 社)・タクシー各社等	市営地下鉄・私鉄・民営バス (3 社)・船
本人負担	なし	なし	なし
対象者	70 歳以上	70 歳以上	70 歳以上
所得制限	あり	あり	あり
交付者数	102,922 人	107,606 人	94,608 人
交付率	94.96%	74.40%	64.90%
平成 23 年度決算額	496,007 千円	448,356 千円	1,076,187 千円
交付者一人当たり事業費	4,819 円	4,167 円	11,375 円
市民一人当たり事業費	624 円	379 円	719 円

各政令指定都市における高齢者への交通助成制度の実施状況

【定期券方式】

	横浜市	名古屋市	京都市	大阪市	北九州市
事業名	敬老特別乗車証交付事業	敬老パス事業	敬老乗車証	敬老優待乗車証交付事業	ふれあい定期券(交通局実施)
媒体	紙カード	磁気カード	磁気カード, 紙カード	ICカード	磁気カード
内容	所得に応じた負担金の納付を受け, フリーパス乗車券を交付	所得に応じた負担金の納付を受け, フリーパス乗車券を交付	所得に応じた負担金の納付を受け, フリーパス乗車券を交付	無料でフリーパス乗車券を交付	減額された磁気カードを販売。 (例) 利用者負担金 3箇月 4,000円
利用交通機関	市営地下鉄・市バス・民営バス(12社)等	市営地下鉄・市バス等	市営地下鉄・市バス・民営バス(11社)	市営地下鉄・市バス・ニュートラム	市バス
本人負担	あり	あり	あり	なし	あり
対象者	70歳以上	65歳以上	70歳以上	70歳以上	75歳以上
所得制限	なし	なし	なし	なし	なし
交付者数	335,127人	304,228人	127,039人	341,003人	—
交付率	59.34%	64.00%	50.43%	79.10%	—
平成23年度 決算額	10,462,955千円	13,151,403千円	4,676,414千円	8,069,012千円	—
交付者一人当たり 事業費	31,220円	43,229円	36,810円	23,663円	—
市民一人当たり 事業費	2,831円	5,801円	3,178円	3,013円	—

(参考)

※ はじめから制度がないのが4市(さいたま, 相模原, 新潟, 岡山)
制度を廃止したのが2市(千葉 20.3.31 廃止, 静岡 19.3.31 廃止)

※ 大阪市は, 平成25年度から更新手数料(3,000円)の徴収, 26年度から乗車ごとに一律50円の自己負担を求める予定。